

1919
2020.10.9

大阪教育

発行・大阪教職員組合
〒543-0021 大阪市天王
寺区東高津町7-11
大阪府教育会館7F
TEL 06-6768-2330
FAX 06-6768-2239
daikyoso@daikyoso.jp
1部30円
(組合員は組合費を含む)
編集発行人・藤川真人
印刷・関西共同印刷所

憲法を世界平和に生かそう!

おおさか総がかり集会

日時 11月3日(火・祝) 14時~
場所 阿倍野区民センター 大ホール

教育のつどい
大阪2020
大阪府
ブロック
開会

講演に共感の声!

「その子がその子らしいことを喜ぶ」学校へ

9月19日、教育のつどい大阪2020の始まりを告げる全体会が大阪市立阿倍野区民センター大ホールでおこなわれました。新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しての集会には教職員と一般参加者合わせて200人近くの参加があり、寮美千子さんの講演に共感の声が寄せられました。

あじとじと基調報告
「教育をどう問い直すか」



基調報告をする
今井教文部長

実行委員長の奥野さん(大阪の高校を守る会)会長)から、「再編整備計画の中で、当たり前だった教育環境が悪化している」として、「子どもたちの教育環境の充実を最も重要課題として、教育行政の在り方を再確認する良い機会とし、教職員、保護者、地域が共に考えていきたい」という挨拶がありました。

記念講演

「子どもたちの心を開く詩の教室」

寮美千子さん

寮美千子さんは、作家として泉鏡花賞を受賞した後、奈良県に引っ越してこられました。偶然知った奈良少年刑務所を「レンガ建築が好き」という理由で訪ねられたことがきっかけで、統括官の細水玲子さんからお手伝いを頼まれたそう。

「空が青いから白を選んだのです」
この詩の作者は、違法薬物の後遺症や父親の暴力などの影響で、うまくしゃべれませんでした。しかし、一生懸命頑張って詩を読み、教室のみんなの拍手を受ける中で、「母親を7年前に亡くした」と「体の弱い母親が父親に暴力を振るわれていたこと」「母親が、亡くなる前に病院で『辛くなったら、空を見てね。私はそこにいるから』』と語り、母を考へ、母親の気持ちになっ



「過去は変えることができないが、過去の意味を変えることはできる。そしてそれは未来を変えることに繋がります」寮美千子さん

「心の鎧を脱げる場所」
そんな中、いつもは声

「過去は変えることができないが、過去の意味を変えることはできる。そしてそれは未来を変えることに繋がります」寮美千子さん

参加者の感想より
知らない世界、閉鎖された刑務所での子どもの姿をリアルに聞かせていただきました。心温まる勇気をいただいたお話でした。本来持っている人間のやさしさは人と人との関わり、自分と他人をつなげてくれる人との出会い、自分を受け止めてくれる場で自分が発見できるものなのだ、改めてわかりました。今の学校教育の中で求められる一番大切なことを聞かせてもらったと思います、ありがとうございます。

「やっぱり少人数学級はいい」「一番の感染症対策は少人数学級……この声をもっと大きく広げ、少人数学級の実現を、国や文科省、大阪府に迫っていきましょう。」

めがせ 少人数学級! 教育全国署名、団体署名を集めよう



大阪スタート集会

8月27日、大阪教育五団体は、大阪スタート集会を開催し、「教育全国署名」のとりくみを大きくすすめていくことを意思統一しました。大教組としても、「教育全国署名」とともに、府議会・府教委宛の「少人数学級の実現を求める団体署名」を提起しています。コロナ禍という非常事態のもとで、少人数学級の必要性や優位性が再確認され、その実現を求める世論は大きく高まっています。政府・文科省もその声に押されて、その実現を考えざるを得ない状況です。さらに、世論を高め広

- 少人数学級の実現に向けたとりくみ
- ①「教育全国署名」「団体署名」を集める。
 - ②PTAや市民団体などと懇談し、協力を求める。
 - ③国会議員・府会議員に請願採択への協力をお願いする。

「女性に平気そうさをつ」と言った議員のこと

「やっぱり少人数学級はいい」「一番の感染症対策は少人数学級……この声をもっと大きく広げ、少人数学級の実現を、国や文科省、大阪府に迫っていきましょう。」

「やっぱり少人数学級はいい」「一番の感染症対策は少人数学級……この声をもっと大きく広げ、少人数学級の実現を、国や文科省、大阪府に迫っていきましょう。」

菅政権、のっけからその居丈高で傲慢な姿勢をあらわにした。「日本学術会議」の新会員6人が政府によって任命を除外された。いずれも安部法制や共謀罪に反対して声をあげてきた方々。政権の意に沿わない人物は会の設立趣旨と経緯、また「学問の自由」の大原則を無視して排除するという姿勢だ。「法に基づいて適切に対応した」とまったく説明になってない応答で記者の前を素通りする首相。「違憲ではないですか!」ぐらい記者も言えなかったのか、と思う。安倍首相なき安倍政権。体質は相変わらずだ。一方、トランプ大統領が新型コロナウイルスに感染したニュースは、オクトーバー・サプライズだった。報道を見る限り、トランプ大統領は深刻化するアメリカ社会の分断と亀裂の元凶だ。居高高で傲慢、自分に都合の悪いことは「フェイクだ」と言っておりあわない。思えば日本の政府にはこのところずっとそうした光景を見せつけられてきた。まずはトランプ大統領の回復を祈りたい。▼「女性に平気そうさをつ」と言った議員のこと